

【問 1】 下記の論文群（別冊：A～H）から1つを選び、看護学、理学療法学、作業療法学、放射線技術科学のいずれかの専門領域における実践の観点にたち、選択した論文の論旨について各自の考え（研究方法、データ分析法、結果の解釈、考察、専門分野との関連性、等）を述べよ。文字数は1000字以内とする。

【問 2】 問1の解答を基に、研究方法や結果の解釈に対する各自の新しい提案を述べよ。文字数は500字以内とする。

-論文群-

- A：土本千春、野尻清香、他．自分を伝えないAYA世代終末期患者の残された「今」を支えた看護—語りあえない家族をゆさぶる—．家族看護学研究 2021；26(2)：188-200
- B：渡邊恵、飯岡 由紀子、他．「バイタルサインの正確な測定 実践能力チェックリスト (VSAMチェックリスト)」の開発および信頼性・妥当性の検証．日本看護科学会誌 2022；42：111-120
- C：藤井幸治、武田芳嗣、他．鏡視下腱板修復術後早期の他動運動訓練時間は術後3カ月の肩関節可動域に影響するか？The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine 2013；50(2)：124-129
- D：森川真也、玉利光太郎、他．生活空間の短期的変化と予測因子の抽出．理学療法学 2015；42(6)：494-502
- E：井田諭、金児竜太郎、他．サルコペニア合併高齢糖尿病患者に対する多面的治療プログラムは筋力及び身体機能を改善させる．日本老年医学会雑誌 2021；58(1)：143-151
- F：唐渡弘起、徳田和宏、他．回復期において脳梗塞後の上肢麻痺に対する課題指向型アプローチと機能指向型アプローチの上肢機能および使用行動に関する比較検討．作業療法 2020；39(2)：162-169
- G：佐野裕和、藪脇健司、他．地域在住要介護高齢者の役割遂行と環境要因が健康関連QOLに与える影響—身体機能の影響を含む包括的検討—．作業療法 2020；39(1)：60-69
- H：津田規吏、三井宏太．逐次期似再構成 CT 画像の不均一領域におけるノイズ特性と解像特性の評価．日本放射線技術学会雑誌 2022；78(8)：809-818